

《Q》空き家対策の条例化を考えているか

《A》国や先進自治体を参考に、条例化を含め調査研究する

川崎 明夫 議員（新政会市民クラブ）



市役所5階から見た宅地化の様子

空き家対策について
質問 市内の空き家や放置されている家屋は何軒あるか、実態調査はされたか。
市長 戸建ての家屋に絞って、職員により、目視による外観調査を実施した。全体で78棟を空き家と確認し、そのうち、放置または一部破損など、管理が行き届かない状態のものが36棟である。
質問 今後の対策をどのようになっているか。
市長 一部破損の状態にあるなど、防災・防犯上、危険と思われる家屋については、所有者と連絡を取り、適正管理に努めるよう要請を行う。

■その他の質問
「郷土愛を育む施策について」
質問 担当所管も、いろいろな課が関係するが対応は。
市長 空き家は、景観上の問題だけでなく、ごみの不法投棄・不審者の侵入や放火の要因にもなる。また、税金や上下水道料金の未納等、多分野にわたるので、単独の部署で解決することは難しい。横断的な施策を展開できる体制の構築や情報の共有化を図り、より実効性のある組織を検討する。
質問 宅建業界との情報の共有化が必要だと思うが。
市長 さまざまな観点からの問題解決が期待できるので、共有化の方策について今後取り組んでいく。
質問 羽村市として、条例化は考えているか。
市長 国において、空き家対策の法整備に向けた動きがある。先進的に取り組んでいる自治体を参考に、条例化を含め、調査研究していきたい。

《Q》市道の石畳風の歩道は危険ではないか

《A》改修する際に安全を重視して整備していく

濱中 俊男 議員（新政会市民クラブ）



羽村市道について
質問 外側線や横断歩道、センターライン等の補修はどうしているか。
市長 外側線は、職員による点検、市民等からの要望を受け、順次、補修している。横断歩道やセンターライン等は、福生警察署に補修を依頼している。
質問 石畳風の歩道は危険ではないか。
市長 石畳風の歩道は、商業振興や都市景観を高めることを考慮し整備した。今後改修する際に安全を重視して整備を進めていく。
質問 JR青梅線以西地区の道路整備計画の進捗状況は。
市長 狭あい道路整備方針を策定し、道路整備を進めている。平成22年度から25年度までに延長約1100mのセッパック部分等の道路舗装整備事業を行った。
質問 清流地区につながるあきる野市道548号線のある野市道548号線の完成はいつか。



清流地区へつながるあきる野市道548号線

市長 今年10月末までに、全体計画450mすべての拡幅事業が完了する見込みである。
ごみ処理の効率化について
質問 今後の三市一町（青梅市、福生市、羽村市、瑞穂町）の統一化に向けた取り組みは。
市長 現在行っている実務担当者会議の調査研究報告を踏まえ、羽村市として各リサイクルセンターで行っている燃やせないごみ、資源物、粗大ごみ等の中間処理について、さらに検討を重ねていきたいと考えている。

《Q》薬物乱用防止対策の強化・充実にどう取り組むか

《A》薬物乱用防止教室を実施し正しい知識と対処等を指導

小宮 國暉 議員（新しい風）



薬物乱用対策の強化を
「危険ドラッグ」を吸引し
 幻覚症状などで救急搬送されたり、自動車事故を引き起こしたりする事件が相次ぎ、大きな社会問題となっている。政府の薬物乱用対策推進会議で、「いわゆる『脱法ドラッグ』乱用根絶のための緊急対策」が示され、文部科学省は、「薬物乱用防止教育のさらなる充実について」の通知を発信している。羽村市でもこの問題への適切な取り組みが必要であると考えられる。
質問 学校教育における児童・生徒等の危機意識の啓発はどのようになっているか。
教育長 「東京羽村ライオンズクラブ」等の協力を得ながら、セーフティ教室や薬物乱用防止教室を実施し、薬物の恐怖や、誘われても断るなどの指導をしていただいている。
質問 セーフティ教室等における薬物乱用防止教育の実施状況や効果については



薬物乱用防止の看板

どうか。
教育長 児童・生徒からは、「薬物はこんなに怖いものだと分かった」「ロールプレイングをやってみて、自分は絶対に強く断らなければならないと思った」「1回でも薬物を使つてはダメなことが分かった」という感想が出ている。専門の講師による映像や実物を示しながら、具体的に指導することで、子どもたちに危機意識を醸成することができていると認識している。

《Q》道路側溝蓋のグレーチング化への計画を聞く

《A》必要箇所は、グレーチングに改善していく

富永 訓正 議員（公明党）



金属をすのこ状にしたグレーチングが使われている道路側溝の蓋

豪雨・豪雪対策を
質問 冠水防止、排水機能維持のため、道路側溝・排水溝・浸透ます等の定期的な清掃が必要では。
市長 市民の皆様からの要望を含め、定期的な清掃に取り組んでいる。
質問 速やかな排水、側溝のメンテナンス性の向上、段差解消などの面でグレーチングが有効だが、必要な箇所の側溝蓋グレーチング化への計画を聞く。
市長 集水能力を高める必要のある箇所は、集水ますの増設や集水機能が高いグレーチングに改善していく。

質問 必要箇所への雨水浸透施設の整備・増設計画は。
市長 雨水の流出を抑えるための雨水浸透施設の整備や増設等を推進していく。
質問 自助の観点から、洪水や土砂災害から身を守るための最低限のポイントの周知が必要ではないか。
市長 ハザードマップの周知、広報紙やメール配信サービスで意識啓発に努める。
質問 豪雪時、どのような対策を考えていくか。
市長 共助、連携、処理、情報伝達等、具体的な対策を検討していく。
公園維持保全計画について
質問 市民からの要望について、具体的な対応は。
市長 それぞれの公園等の特性を生かし、快適な公園整備に取り組む。
質問 避難場所となる市内の主要な公園に防災公園的な機能を持たせては。
市長 災害規模に応じた設備の充実を検討していく。

《Q》団体が情報交換できる場を作る考えは

《A》必要であり、基本方針を検討する中で盛り込んでいく

富松 崇 議員（新政会市民クラブ）



魅力ある住みやすい 街づくりについて
質問 町内会・自治会の加入率低下をどのように捉えているか。
市長 町内会・自治会は、地域の自律性と自主性を高め、地域の絆を深めるため、防災、防犯、環境美化活動等を実践し、そこに住む市民の皆様が生きてきた生活を支えていることを目指す組織であり、重要な役割を担っているものと認識している。連携を一層強化し、加入促進に向けた取り組みを進める必要があると考えている。
質問 学校教育の充実を図るうえで、PTA組織はどのような役割を担っていると考えているか。
教育長 学校の支援や子どもたちの育成に繋がる活動を行っており、学校を支える重要な存在と考えている。
質問 地域コミュニティの機能強化は今後、重要な施策となつてくると考えるか。
市長 第五次羽村市長長期総

《Q》シルバー人材センターの受注件数と契約金額は

《A》平成25年度は5,077件で3億12万円である

橋本 弘山 議員（新政会市民クラブ）



シルバー人材センター

シルバー人材センターの現況について
質問 市としてさらに支援していくべきと考えるが。
市長 人材センターの組織みは高齢者施策の一つとして大変重要と捉えている。今後は、特に就業拡大の情報提供などを積極的に行ない、会員数と仕事の供給のバランスが保たれるよう支援していく。
身近な市民活動（アダプト制度）の取組みの推進を質問 アダプト制度を承知しているか。
市長 市民と行政が連携し、美しいまちづくりを進めるために市と合意書を取り交



ボランティアの活動と市民ニーズをマッチングさせる市民活動センター

合計画に掲げる基本目標「ふれあいと活力あふれるまち」を実現するためには、町内会・自治会、ボランティア・サークルなどの市民活動団体、NPO法人などの自立した活動や相互の連携を支援し、地域コミュニティの機能強化を図ることが、極めて重要なことであると認識しており、これまでの各施策、事業を検証しながら、今年度に策定する新たな「市民活動推進基本方針」に盛り込んでいく。

《Q》富士見公園の新しい駐車場の整備は

《A》本格整備までの間、一時的な使用も検討したい

水野 義裕 議員（羽村21）



富士見公園の新しい駐車場予定地

公共施設の駐車場整備を質問 富士見公園の新しい駐車場はいつ整備する予定か。市民体育祭や産業祭なども控えており、早期に活用できるようにすべきではないか。
市長 この土地は、富士見公園の駐車場として整備予定で、防衛省の補助採択の事務手続きを進めているが、本格整備までの間、一時的に駐車場として使用できるよう検討していきたい。
質問 ゆとろぎの4つの駐車場の、1台当たりの年間賃貸借料は。
教育長 立体駐車場の第1駐車場は1台当り年間10万3680円、第2駐車場5

万9997円、第3駐車場7万5120円、第4駐車場6万9504円。
質問 第2駐車場はこの一年間で何度使われたか。また駐車状況は。
教育長 第2駐車場は、ゆとろぎから最も離れた駐車場で、昨年は41回開けた。駐車台数等は把握していない。
質問 スイミングセンターの駐車場が満車になるのは年間何日あるか。
教育長 昨年度は開館日数315日中、27程度が満車となつている。土曜日や日曜日に、大会等を開催する場合、都立羽村特別支援学校に駐車場をお借りしており、昨年度は10日間10台分確保していた。
質問 駐車可能台数を増やすことを検討してはどうか。
教育長 スイミングセンターの敷地面積等の関係から現時点では考えていない。

■その他の質問
 「市の様々な計画について」「OECDの調査結果に関連して」

《Q》消費税率引き上げの市内事業者への影響は

《A》工業分野はおおむね好調、商業分野は厳しいところも

馳平 耕三 議員（民主党）



ものづくり企業が集まる工業団地

消費税率 引上げの影響は？
質問 消費税率引上げによる市の歳入・歳出への影響は。
市長 現時点では、地方消費税交付金以外の歳入の増加は見込めない。歳出は約1億2千万円増える試算。
質問 国は消費税率増加分を全額社会保障に充てると明言しているが、羽村市は何に充てるか。
市長 地方消費税交付金は、優先的に社会保障政策に充てるものと解釈している。
質問 今年度4月から8月の生活保護申請は、昨年と比較しどう増減したか。
市長 今年度は53件で、昨年と比較して14件増加した。

質問 市税や保険料等の滞納はどう変化すると考えているか。
市長 26年7月末現在、国民健康保険税の収納率は前年同期比1.5ポイント低下しているが、市税全体の収納率は、前年同月比6.3ポイント上昇している。消費税率の引上げが直ちに滞納の増加につながるとは考えていない。
質問 消費税率引上げ後の市内事業者の現状をどう把握しているか。
市長 工業分野では駆け込み需要の反動は少なくおおむね好調といえる。自動車業界ではトラックは軒並み好調だが、乗用車は落ち着いてきた感がある。商業分野では、消費税率引上げの反動は少なかったようだが、仕入れ経費が増加し厳しい経営状況にあるところも見受けられる。

■その他の質問
 「教員の多忙化を是正せよ」「自殺・虐待等から市民の命を守る施策を」

《Q》子ども自身が自由に創造していく遊び場を
《A》効果的な公園の活用を研究していく

印南 修太 議員（新政会市民クラブ）



今年の夏に行われた水辺観察会

屋外での子ども達の育成環境の充実を
質問 グリーントリム公園などに、定期的にプレイリーダーを配置した「冒険遊び場」をつくれませんか。
市長 現時点では配置する考えはないが、市の公園においては、多くの市民ボランティアが関わっている実績があることなどを踏まえ、公園のより効果的な活用を図る観点から、今後研究していきたい。

質問 子ども達と多摩川の清掃をしながら、羽村の環境について楽しく学ぶ活動を定期的にできないか。
市長 今後は環境学習事業を夏休みだけでなく、春や秋にも実施する中で、清掃活動を取り入れ定期的な事業となるよう検討していく。
質問 クールシェアの視点から、8月の月曜日はゆとりぎと図書館を交互に開館し、学習の場を提供しては。
教育長 月曜休館が定着しているため、短期間の休日の変更は利用者の混乱を招く可能性もあり、多角的な検討が必要である。

質問 子ども体験塾などの広域連携イベントは、はむらんに車外広告をしては。
教育長 ポスター・チラシなど様々なものを活用し周知に努めているが、今後も車外広告など、新たに活用が期待できるものを研究し、一層効果的な宣伝について検討していく。

※プレイリーダー：子ども達の自由な遊び環境を作る・整える役割の人
※クールシェア：公共施設などで過ごすことにより、各家庭の夏のエアコンによる電力消費をなるべく減らそうという活動

《Q》子ども・子育て支援新制度の影響は
《A》新制度への円滑な移行のための準備に努める

石居 尚郎 議員（公明党）



歩道設置予定の羽村橋付近の道路

子ども・子育て支援新制度の影響について
この制度の当初目的が達成できるよう、利用者・事業者・基礎自治体の影響を分析し、子育て、教育現場に即した制度となるよう前回に引き続き質問した。
質問 新制度の影響は。
市長 国や都に対し、認定子ども園などについて疑問が生じている点もあり、再三確認を行い、情報提供に努めている。引き続き、新制度への円滑な移行のための準備に努める。

・安全な道路行政を
市民生活でも身近である高年齢者や障がい者の方々に配慮された道路、交通安全・安心安全に配慮された道路行政について問う。
質問 羽村橋付近の道路整備のうち羽村東小学校の通学路変更経路と完成時期は。
市長 今年度の完成を目指している。通学路については、学校長が関係者と協議し変更していく。

質問 東京都水道局羽村取水所にセツトバックの要請をしたか。
市長 宅地開発協議の中で、歩行者空間の確保として依頼した。セツトバックの幅および延長等については、現在協議を進めている。

羽村の観光と産業振興
東京五輪・パラリンピックの開催に向け、地域の活性化を目指して羽村市もより積極的に観光に力を入れるべきではと質問した。

《Q》1時間100ミリの雨が降ると、どういう被害が起こるか
《A》具体的に想定することは難しい

鈴木 拓也 議員（日本共産党）



横田基地に飛来したオスプレイ

集中豪雨から市民を守る備えを
質問 集中豪雨に対する対策を、どう進めているか。
市長 1時間あたり50ミリの雨に対応できるよう雨水処理能力の増強を図っている。それを超える場合は、市民への適切な情報提供などソフト面の対策強化をはかる。
質問 8月の台風11号によつて、信号「あさひ公園」交差点が冠水した。原因は何か。
市長 集中的な降雨により、落ち葉やごみが集水ますを詰まらせた。定期的な清掃に努める。

オスプレイの飛来日常化をゆるさない取組みを
質問 反対の声に耳を貸さず、オスプレイが飛来した。どう考えているか。
市長 再三にわたり要請してきたが、飛来が行われ、誠に遺憾だ。
質問 オスプレイの危険性をどう認識しているか。
市長 開発段階で4回の墜落事故、量産に移行してからも3回の墜落で、11人が死傷している。安全性に懸念があると認識している。
質問 今後、飛来が日常化される懸念がある。どう対応を図るか。
市長 周辺自治体との連携を軸に、国の動向を注視しながら、対応していく。

「就学援助」制度の縮小はやめよう
質問 就学援助制度の縮小は行うべきでない。対応は決定したか。
教育長 できる限り影響が及ばないよう検討している。

《Q》教員の多忙解消に対する改善策は
《A》教員を支援する人材を配置した

門間 淑子 議員（市民ネットワーク「いきいき広場」）



元気に遊ぶ児童（羽村西小学校の中休み風景）

教員の長時間勤務は解消されたか
OECD調査で、日本の教員は突出して勤務時間が長く多忙で余裕がないことが報告された。対応を問う。
質問 小中学校での残業時間の平均と最長は。
教育長 出勤・退勤の時間帯調査からの類推した参考値で、小学校では平均60時間・最長120時間、中学校では平均56時間・最長100時間となっている。
質問 多忙解消への残された課題は何か。
教育長 学校、地域が担うことのバランスを考え「選択と集中」を進めること、学校

を支援する人材活用ができる体制づくり、質の高い教育を行うための効果的な人材配置、などである。
共通番号制度で個人情報を守られるか
大手通信教育業者からの個人情報的大量漏洩事件は、システム管理と人材育成の問題点を浮き彫りにした。共通番号制度では成りすましや漏洩の危惧がある。
質問 特定個人情報保護評価の実施時期と公表方法は。
市長 年度内に実施する。公表方法は国から示されていないため、未定である。
質問 「番号制度の導入ガイドライン」では緊急時対応や職員研修が必要だが。
市長 セキュリティポリシーの見直しを検討する。

※OECD調査：経済協力開発機構が実施した学校の学習環境と教員の勤務環境に焦点を当てた国際調査
※セキュリティポリシー：組織における情報を安全に保護するための対策を総合的にまとめたもの